



ほけんだより 9月号



2024年9月2日
昭和ナースリー
看護師

9月1日は
防災の日



災害に備えよう！

9月1日は「防災の日」です。災害が起きた時の被害を最小限にするためにも、日頃の準備や対策が大切です。家の中や周りの点検、非常用持ち出し袋のチェックなどをします。食料や水などの備蓄品は最低3日分準備します。災害に備えて家族で準備をしておきましょう。



乳幼児がいる家庭での非常時の備えとして、**1週間分【紙おむつ100枚】・【おしり拭き200枚】を目安に常にストック**しておくと思います😊

災害時には、下痢など体調を崩す乳幼児が多くなることを想定すると、オムツの使用枚数は多めに見込む方がいいです。また、子どものサイズアウトしたオムツは、災害時に大人用簡易トイレに使用できたりもするので、処分せずにとっておくのもアリです!!!

9月9日は救急の日



休日・夜間の急な子どもの病気で、受診した方がいいのか様子を見ても大丈夫なのか判断に迷った時は、こども医療でんわ相談を知っておくと便利です☎

こども医療
でんわ相談 #8000

住んでいる都道府県の相談窓口へ自動で転送され、小児科医や看護師から、救急車要請が必要なのか、受診が必要なのか、経過観察でよいのか、家庭での対処法、病院受診の目安など、電話口で具体的なアドバイスを受けられます!!

平日 午後6時～翌朝8時
土日・祝日 24時間対応

職員向け
気道異物除去・一次救命処置・AED
の研修を行いました 🇯🇵

『万が一の時、救急隊が到着するまでの約10分間*で、※東京消防庁2022 私たちが最大限できることを。』

東京消防庁管内では 2019～2023 年の 5 年間に、5 歳以下の子ども 5,528 人が窒息や誤飲などで救急搬送されています。0～2 歳児は奥歯が生え揃っていないため、食べ物を丸呑みすることもあります。

ナースリーの全職員で、誤嚥・窒息した際の対応方法や、乳幼児の心肺蘇生法を含めた一次救命処置、AED の使用方法を、人形を用いたシミュレーションで確認しました。

万が一の時に、冷静に対応できるよう、職員一同、常に知識・技術の研鑽に努めてまいります。



【乳児医療証】更新のお願い

乳児医療証の有効期限が9月末日で切れます。9月中旬に世田谷区から郵送される新しい乳児医療証がお手元に届き次第、**乳児医療証のコピー(1部)を園に提出してください。**

なお、2024年12月2日以降は『マイナ保険証』を基本とする仕組みに移行していくため、現在お預かりしている保険証コピーは今年度での使用終了を検討しています。

ナースリーでは、誤嚥事故防止のため、ぶどう類・ミニトマト・キャンディチーズの給食での取り扱いはしていません。また、リンゴを提供する際は、煮リンゴにして提供しています🍏

ご家庭でも、巨峰・ピオーネ・ミニトマトは1/4サイズにカットするなど工夫し、誤嚥・窒息に注意しましょう★

昭和ナースリー8月の感染症報告

- 手足口病 3名 (うさぎ2名・くま1名)
- ヘルパンギーナ 1名 (うさぎ)